Power all voice
MASANORI NAGATA SUPPORTING TEAM
TO YOU 友優勇
2020 October Vol.56

永田雅紀後援会
〒730-0822
広島市中区吉島東1-9-5-201
TEL／FAX(082)２４１-２３８１
e-mail:mn-net@triton.ocn.ne.jp
http://www.nagatamasanori.com/kouenkai/kouenkai.html

INFORMATION PRESS

［CONTENTS］　Ｐ１……ごあいさつ・旧中島地区被爆遺構展示整備基本計画の概要／Ｐ２・３……広島駅南口広場レイアウト／Ｐ４……広島城基本構想

ごあいさつ

時下、後援会会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、いつも後援会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の治療薬やワクチンの早期開発が待たれる中、感染拡大の不安をかかえたまま秋冬を迎えようとしていますが、withコロナの新しい生活様式に留意し、社会経済活動との両立をさせながらこの難局を乗り越えることが求められています。広島市においても新型コロナ対策と同時に令和2年度当初予算をつけられている事業を着実に進めて行かなければなりません。その上では、新型コロナウイルス対策や社会経済活動の活性化に資するための法律の改正等を含め、国と地方自治体が連携して迅速に対処方針を出していくべきと考えています。また、今年も全国で豪雨災害が多発しましたが、災害に強いまちづくりをどう進めるか等に対しても情報を収集し続け、市民の皆様が安心して暮らせる安全なまちとして発展するための施策を着実に行えるよう議会の立場で提言しているところです。

本号は被爆遺構基本計画と広島駅南口広場及び広島城基本計画について掲載させて頂いております。限られた紙面ではございますが、ご意見等がございましたらご連絡下さいます様お願い致します。市民の皆様が生活の質向上を実感できるまちになるよう市政発展に渾身の努力を傾注して参る覚悟でございますので、引き続きご指導ご鞭撻ご支援を賜ります様、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、コロナ禍、各方面で日々ご尽力下さっている方々に深く感謝申し上げ、皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げまして挨拶とさせていただきます。

広島市議会議員　永田雅紀

旧中島地区被爆遺構展示整備基本計画の概要

平和記念公園の区域は、被爆当時多くの人が生活していた旧中島地区の町の上に被爆後盛土をして整備されたものである。平成３１年度（令和元年度）に行った確認調査の結果、この場所にもともと人々の暮らす町があり、人々の日常の営みがあったことを想起させる被爆遺構が検出されたことから、平和記念公園を訪れる方々に被爆の実相を伝えるため、建屋を整備し、被爆遺構の保存状況等をモニタリングしつつ展示できるようにする。

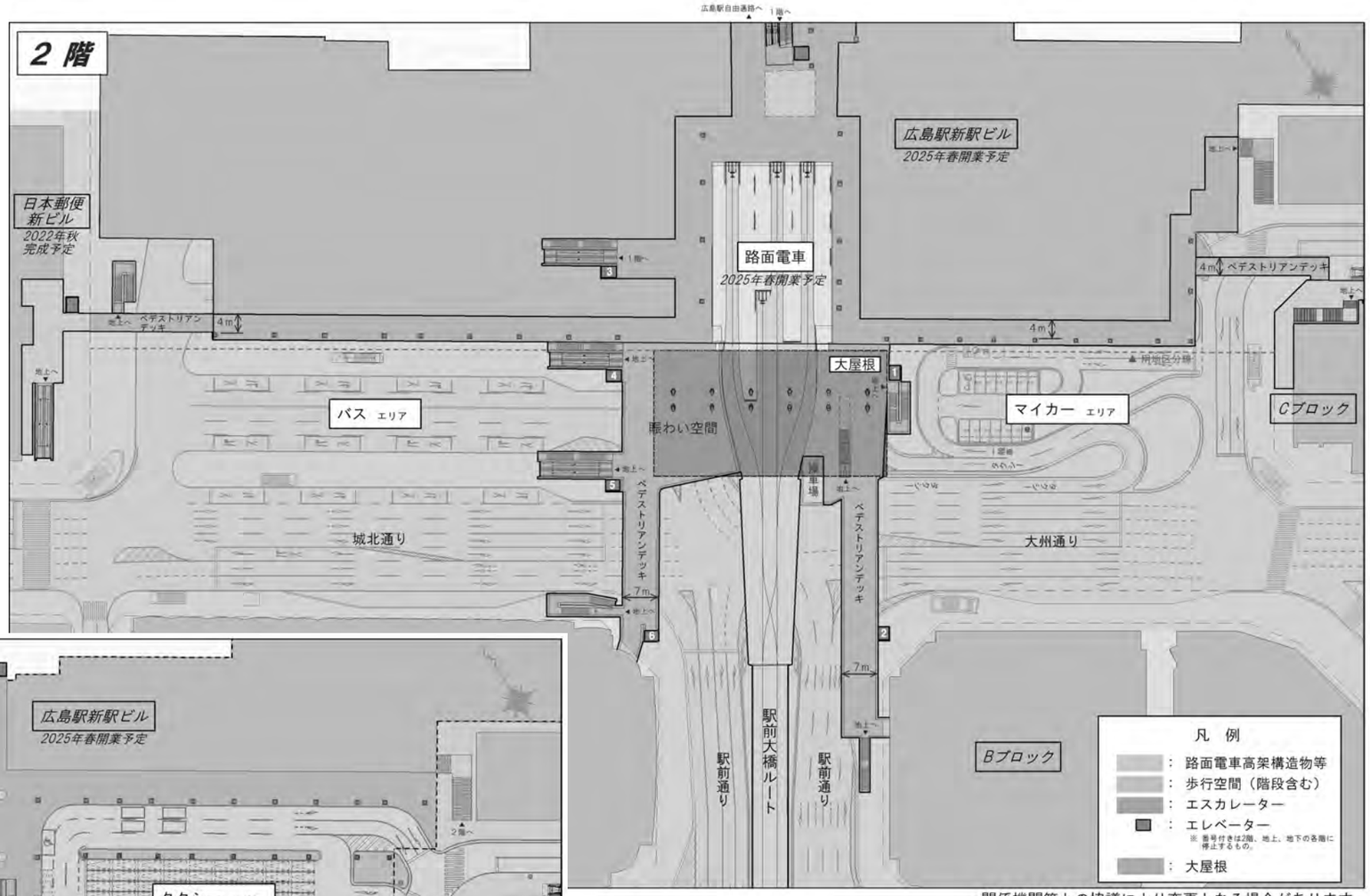
施設等の配置計画

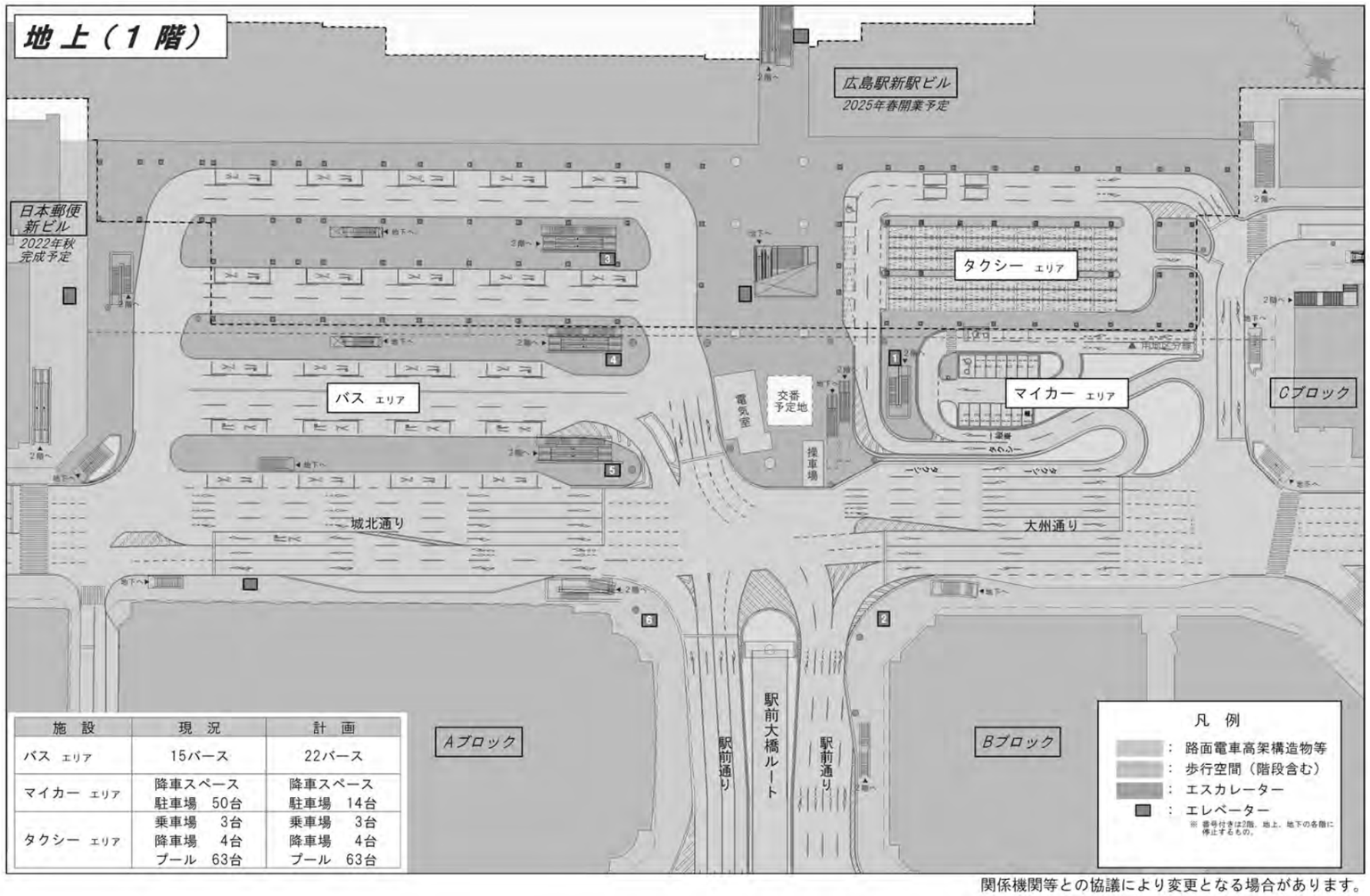
外観イメージ図　鳥瞰イメージ図

事業スケジュール

年度		令和2年度（2020年度）			令和3年度（2021年度）			
期		第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
施設整備	設計		実施設計 →					展示
	工事				実施設計 →			

広島駅南口広場レイアウト





施　設	現　況	計　画
バス　エリア	15バース	22バース
マイカー　エリア	降車スペース 駐車場　50台	降車スペース 駐車場　14台
タクシー　エリア	乗車場　3台 降車場　4台 プール　63台	乗車場　3台 降車場　4台 プール　63台

関係機関等との協議により変更となる場合があります。

1. 目的 利用者の利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成を図るとともに、広島駅周辺地区で進めてきた都市機能強化の取組と一体的なまちづくりを推進するため、ＪＲ西日本及び広島電鉄と連携して、南口広場の再整備、路面電車の駅前大橋ルートや循環ルートの整備、駅自由通路とつながる歩行者ネットワークの整備に取り組みます。
2. 事業概要 (1) 概要 広島駅南口広場は、バスの降車場が駅と離れＪＲとの乗り継ぎが不便であるとともに、ラッシュ時に広場に進入できない路面電車が行列待ちとなっています。また、待合場所や憩いの場といった賑わい・交流空間が少ないなど様々な課題を抱えています。さらに、路面電車の広場への進入ルートが迂回しているため、広島駅と紙屋町・八丁堀地区間の所要時間が長く、路面電車の定時性や速達性の確保が課題となっています。こうした課題に対応するため、ＪＲ西日本が実施している現広場の自社所有部分上空の立体利用を前提とした駅ビルの建替え（令和7年 春開業予定）と連携し、路面電車を駅ビルの2階レベルへ高架で進入させる駅前大橋ルートを整備するとともに、それによって生まれる空間を活かして、駅周辺に点在するバスの乗降場を集約するなどの広場の再整備を行います。あわせて、広場を中心に広島駅南口Ａブロック・Ｂブロック・Ｃブロック、及び日本郵便の新ビル方面へのペデストリアンデッキを設置し、駅自由通路とつながる2階レベルの歩行者ネットワークを構築します。また、既存路線を活用して市内中心部を環状で結ぶ路面電車の循環ルートを整備し、沿線地域の利便性の確保や賑わいの創出等を図ります。

広島城基本構想

広島城全体に関する基本的な考え方（コンセプト）

本基本構想では、整備基本計画において定められた史跡広島城跡整備に関する目標（①広島の歴史を継承し、かつ体験できる場 ②広島らしい風景を持つ空間 ③人々に親しまれ、多様な機能を発揮するオープンスペース ④都市観光の拠点の4点。以下「整備目標」という。）の趣旨や中央公園全体におけるゾーニングの基本的な考え方を踏まえつつ、整備基本計画に基づく取組の進捗状況やその後の状況変化等も勘案し、今後当面の取組の指針となる基本的な考え方（コンセプト）を次のとおり設定するものである。

【基本的な考え方（コンセプト）】

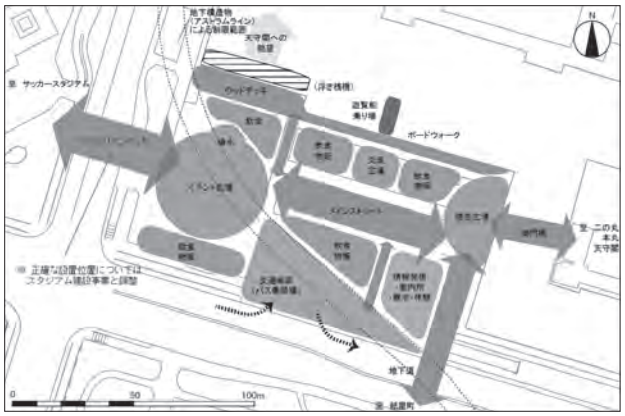
① 重層的な歴史性を基本とした魅力づくり（広島城内の回遊性向上）
② 来訪者目線に立った公園運営
③ 広島観光のネットワーク拠点（広島城内外の回遊性向上）

三の丸（広島城への来訪者のおもてなし拠点）に関する基本的な考え方（コンセプト）

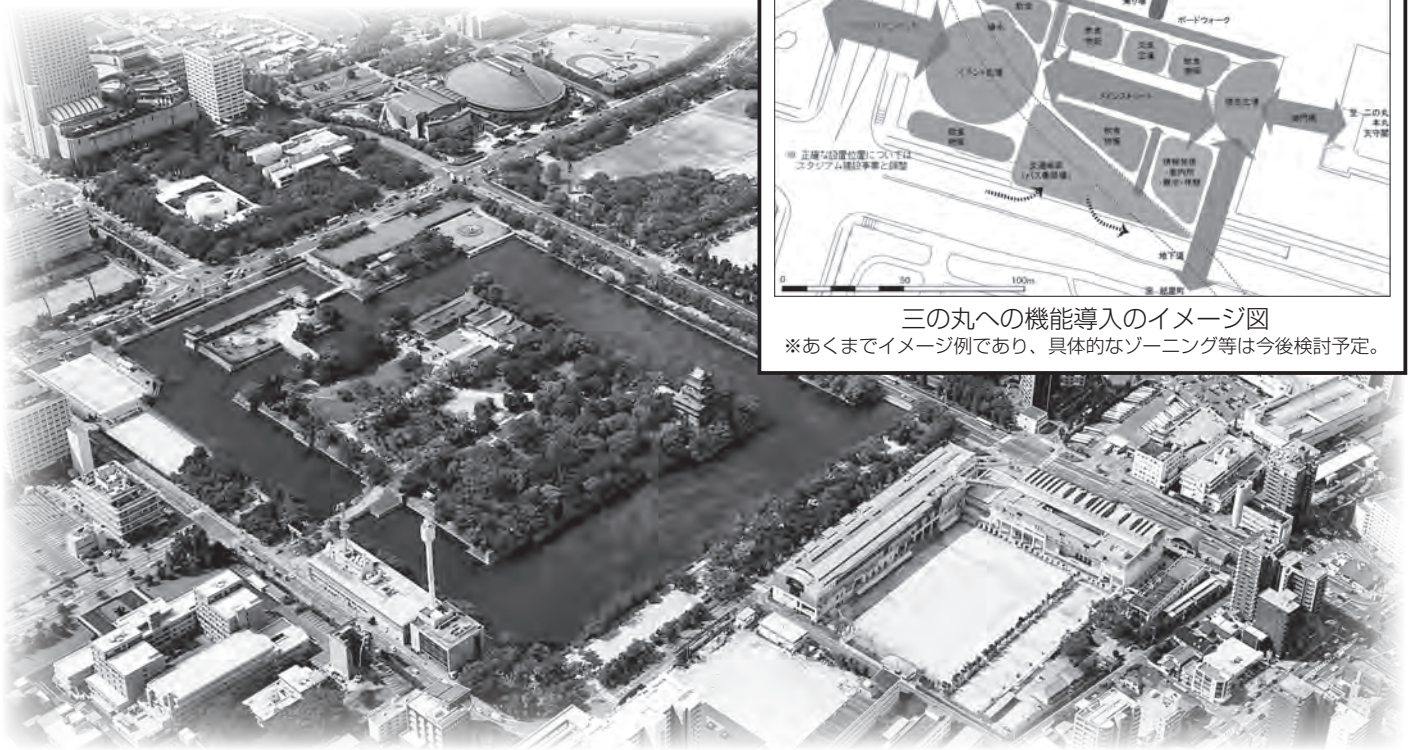
広島城への来訪者は増加傾向にあるものの、整備基本計画において三の丸に整備することとされている飲食・物販施設や観光案内所などの便益施設はこれまで十分に整備されておらず、観光客・市民を対象としたニーズ調査や企業を対象としたサウンディング調査でも三の丸に求める施設として上位を占めている。広島城をじっくり見て回ってもらい、また広島観光のネットワーク拠点として位置付ける上でも、これらの機能を中心に導入を図り、広島城への来訪者の「おもてなし拠点」を目指す。

観光バス駐車場の移転 三の丸への新たな機能導入に必要な事業用地を確保するため、三の丸に立地する観光バス駐車場の中央バレーボール場への移転に向けて検討する。

参考資料



三の丸への機能導入のイメージ図
※あくまでイメージ例であり、具体的なゾーニング等は今後検討予定。



今後のスケジュール

天守閣の耐震対策及び三の丸への機能導入については、令和6年（2024年）を目指し、以下のスケジュールで事業を推進する。

- ●令和2年度（2020年度）・広島城基本構想の策定・天守閣：耐震改修又は木造再建の方向性の決定、補強立案（耐震改修の場合）・三の丸：三の丸整備基本計画の策定等 。
- ●令和3年度（2021年度）～令和5年度（2023年度）・天守閣：実施設計・工事（耐震改修の場合）・三の丸：事業者選定、設計・工事、開業準備 バス駐車場の移設、開業（三の丸の整備に影響が出ないよう先行して開業）。

※尚、投稿資料は抜粋資料のため詳しくは広島市ホームページなどで確認してください。